

自然科学研究科附属光合成研究センター 上掲式 センター長挨拶

本日は学長をはじめ、各理事、多くの先生方のご臨席のもと、自然科学研究科附属光合成研究センターの看板上掲式が行われたことを深く感謝しております。このセンターは、前理学部長の高橋純夫先生をはじめ、多くの方のご尽力によって本年4月1日に設置されました。ここで改めて関係の先生方に厚くお礼を申し上げたいと思います。

光合成研究は世界で長い歴史があり、岡山大学でも理学部生物学科を中心に世界トップレベルの研究が続けられてきました。しかし、基本原理としての光エネルギーの変換、水分解反応の機構などに関してはまだわかっていないことが多くあります。また、最近はエネルギーや環境問題との関連で、応用面での人工光合成研究が改めて注目されているところです。私どもはこれまで光合成の原理解明、特に光エネルギー変換や水分解・酸素発生反応の機構解明に関する研究を行ってきましたが、本光合成研究センターでは、これまでの研究をさらに発展させ、光エネルギー変換や水分解反応機構の解明などにおいて世界最先端の研究水準を維持するよう努力していきたく



いと思っています。また、人工光合成による太陽エネルギーの高効率利用、及び遺伝子技術を利用した光合成生物の改変による乾燥、高温、などの悪い環境により適した作物の作出というような、応用を目指した研究を学内の先生方とも密に連携しながら、さらには国内外の第一線の研究者と密に共同研究や情報交換を行い、一層の成果をあげていきたいと考えています。ご支援・ご鞭撻をどうぞよろしくお願いいたします。

本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。

平成 25 年 4 月 11 日

光合成研究センター長 沈 建 仁



OKAYAMA UNIV.